

子育てにやさしい 地域づくり ワークショップを 開催しました

岐阜県では、こどもや子育て家庭を社会全体で支援する地域づくりを進めています。

その取組の一つとして、子育て中の悩みや困りごとを共有し、よりよい地域での子育て支援につなげることを目的に、2025年9月に美濃加茂市で、11月に海津市で「子育てにやさしい地域づくりワークショップ」を開催しました。

今回は、その中から海津市と合同で開催したワークショップの様子をご紹介します。

会場は、海津市こども未来館ZüTTo。

当日は、岐阜大学地域連携推進本部地域協学センター所属の教授の方々に、ファシリテーターとしてご協力いただき、子育て中の保護者をはじめ、ファミリー・サポート・センター提供会員、こども食堂の関係者など、17人が参加し、それぞれの立場から意見を交わしました。

テーマは「子育ての悩みや困っていること」「その課題解決のためのアイデア出し」の2つ。参加者は3つのグループに分かれて話し合い、最後に各グループでまとめた内容を全体で発表しました。

セッション 1

子育てに対する思いの共有

はじめに、
日頃感じている子育ての悩みや困りごとを付箋に書き出し、
グループ内で共有しました。

参加者から出た
主な意見

- 気軽に相談できる場を充実させてほしい
- 仕事との両立が難しく、こどもとの時間を十分に取れない
- こどもの動画視聴など、家庭での過ごし方に悩む
- 公園のトイレなどを整備してほしい
- 地域の行事が減り、交流の機会が少なくなった
- 小児科が少ない、急な預け先が見つかりにくい
- 通学路の安全や遊び場の不足が心配

地域ならではの課題について、多くの共感の声が寄せられていました。

セッション 2

どこから取り組んだらいいだろう？

続くセッションでは、出された意見をもとに、「自分にできること」「地域や行政などと連携してできること」という視点で、解決に向けたアイデアを出し合いました。

参加者から出た
主な意見

- 施設を保護者の学びの場として活用
- SNSを活用したイベントや子育て支援情報の発信
- 公園などの遊び場の整備
- 地域行事開催への行政のサポート
- 病児保育などの支援サービスの充実

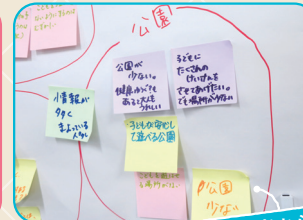
このほかにも、前向きなアイデアが数多く提案されました。

つながりから始まる地域づくり

意見交換を通して、子育て中に感じる身近な不安や孤独感が共有され、同じ思いを抱える人がいること、行政や地域とつながることでできることが広がることを実感し、地域の一員として関わる大切さを確認し合う機会となりました。

県としても、当事者の方々の声を直接聴く貴重な場となり、子育てにやさしい地域づくりへのヒントが多く得られました。今後も岐阜県こども計画のもと、「ぎふっこまんなか社会」の実現を目指し、みなさまの声を大切にしながら、一緒に考え、施策や活動につなげていきます。

子育ての思いを
付箋に書き出す参加者



参加者から
出た意見

グループごとに
話し合った内容を発表

